慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	『一寸法師』奈良絵解題・影印
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2007
Jtitle	三田國文 No.45 (2007. 9) ,p.112- 113
JaLC DOI	10.14991/002.20070900-0112
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20070900-0112

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『一寸法師』奈良絵　解題・影印

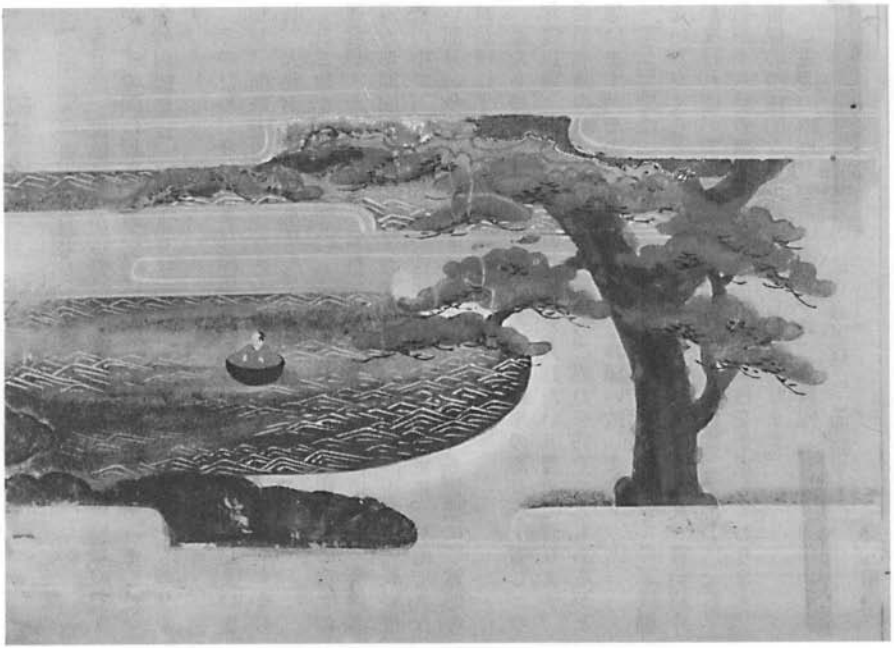
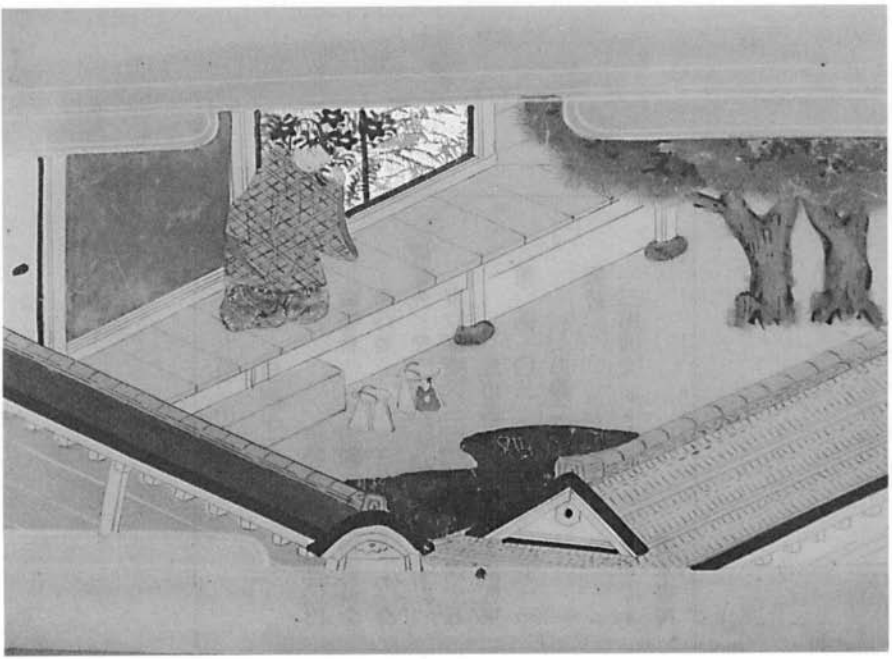
石川　透

所蔵、架蔵
形態、奈良絵本、断簡二枚
時代、〔江戸前期〕写
寸法、縦一七・五糎、横二四・三糎
料紙、斐紙
本文、なし
奥書、なし

解　題

御伽草子の多くは、奈良絵本か絵巻に仕立てられ、享受されている。そのような作品群の中で、なかなか奈良絵本や絵巻の存在を確認できないものがある。有名な作品でいうと、『一寸法師』がそれに当たる。

『一寸法師』は、御伽文庫本二十三編の叢書の一作品として、版行された。そして、その話の元といえる『小男の草子』については、古くからの奈良絵本が多く存在しているのである。

おそらくは、『一寸法師』は、古くからの写本自体が少なく、御伽草子としては、後出来の作品なのであろう。そういった中で、かろうじて、『一寸法師』の奈良絵本の絵の断簡を探し得た。御伽文庫本によく似ているので、御伽文庫本の写しの可能性が大きいであろうが、貴重な例として、ここに、その影印を紹介する次第である。

本書の書誌は以下の通りである。